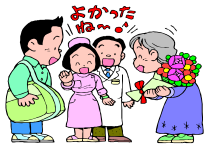
ID		患者氏名	様

鏡視下肺切除術を受けられる方へ（木曜入院）
【患者用クリニカルパス（入院スケジュール）】

この計画書は診療の概要を記したものであり、状況に応じて変更することがあります。※何かご不明な点があったら、担当医又は看護師にお尋ねください。

年月日	年　月　日	月　日～　月　日	月　日	月　日		月　日　～　月　日	月　日　～　月　日	月　日	月　日
経過	入院日	手術3～2日前	手術前日	手術当日		手術1～2日後	手術3～8日後	退院前日	退院日
				術前	術後				
達成目標	手術を受けるための身体的・精神的準備ができている 術前処置・準備に不明な点がない	手術を受けるための身体的・精神的準備ができている 術前処置・準備に不明な点がない	手術を受けるための身体的・精神的準備ができている 術前処置・準備に不明な点がない	手術を受けるための身体的・精神的準備ができている 術前処置・準備に不明な点がない 絶飲絶食が守れている	呼吸・血液の循環に問題がない 傷口に異常がない 出血の徴候がない ドレーン（傷口の管）に異常がない 痛みのコントロールができている 安静が守れている	呼吸・血液の循環に問題がない 傷口に異常がない 出血の徴候がない ドレーン（傷口の管）に異常がない 痛みのコントロールができている トイレ歩行ができる 食事摂取ができる	呼吸・血液の循環に問題がない 傷口に異常がない ドレーン（傷口の管）に異常がない 痛みのコントロールができている 食事摂取ができる 自分でシャワー浴ができる	傷口に異常がない ドレーン（傷口の管）を抜去できる 自分でシャワー浴ができる 退院後の注意点が理解できる	傷口に異常がない 退院後の注意点が理解できる 
検査 治療 処置	歯科受診：口腔ケア 呼吸訓練・ネブライザー開始		起床後採血 麻酔科診察 	手術衣に更衣 	酸素マスク 尿管挿入 傷口状態観察 ドレーン（傷口の管）管理 HCU入室 （集学治療病棟）	取り外し 抜去 排液の量が減ったら管を抜きます 一般病棟へ ネブライザー再開 終了 胸部レントゲン （状態に応じて適宜撮影）			【退院基準】 ・高い熱がない ・肺炎症状がない ・傷の腫れや赤みがない 【退院後の治療計画】 ・内服の継続 ・傷口の清潔 【退院後の生活について】 ・手術後1～2ヶ月は、傷口の違和感や痛みが続くことがあります。処方された痛み止めを内服して日常生活の拡大をおこなってください。 ・傷が赤く腫れたり、膿のように黄色いものが出る場合、また発熱・咳・膿性痰・息苦しさが続く場合は、受診が必要となりますのでご連絡ください。 【指導】 ・服薬指導 ・退院後の生活について指導 【連絡先】 徳島大学病院:電話088-631-3111代表番号になっています。 退院後は、外科外来：電話088-633-7136（平日昼間）へお知らせください。夜間・土日・休日は救急外来088-633-9211となります。
内服薬 注射			指示に沿って 下剤内服	麻酔科の指示にて 薬の中止あり	手術室より点滴開始	食事を半分食べることができたら点滴終了 持参薬があれば再開			
活動 安静度	制限なし	制限なし	制限なし	制限なし	ベット上安静	尿管抜去後歩行許可	制限なし	制限なし	
食事	制限なし	制限なし	夕食まで食事可能	当日は絶食 医師の指示にて飲水中止 	当日は絶食 	昼食より食事開始 医師の許可後 水分摂取開始	制限なし	制限なし	
清潔	シャワー浴	シャワー浴	シャワー浴		洗面	体をふきます 	ドレーン（傷口の管）抜去後シャワー許可	シャワー可	
排泄	トイレ歩行	トイレ歩行	トイレ歩行	トイレ歩行	手術室より尿管挿入	午前中に尿管抜去後病棟トイレ歩行可	トイレ歩行	トイレ歩行	
指導 説明 書類	・医師より入院説明 ・ネームバンド装着 ・入院時オリエンテーション ・手術オリエンテーション ・病衣使用確認 ・集学治療病棟入室時の必要物品説明・確認	・手術・麻酔・輸血説明同意書 ・肺血栓塞栓症予防の説明同意書 ・研究・検体保存に関する同意書 ・その他必要な同意書			血栓症予防のため 足の指をグーパーと広げます 			退院時指導	
リハビリ その他									